

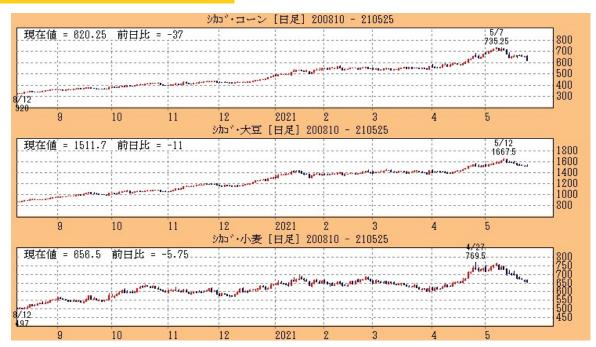
# 週刊穀物

世界の穀物情報がここに凝縮されています。 毎週水曜日夕方発行



# トウモロコシ、大豆は反落

発行日 : 2021/5/26



25日のシカゴトウモロコシ7月限は前日比▲37.00セント安の620.25セントと大幅反落。取引レンジは617.25セント~661.75セント。米農務省(USDA)が前日の取引終了後に公表した週間の作付け状況が、例年より早いペースを示したことが弱材料になり、売りが優勢となった。米中西部産地での降雨予報を受け生育に理想的な天候となっていることから、増産期待が広がり売りが継続すると、米国取引時間に下げ幅を拡大し、引け直前にストップ安となる617.25セントをつけ、安値に近い水準で取引を終了した。

25日のシカゴ大豆7月限は前日比▲11.00セント安の1511.75セントと反落。取引レンジは1499.00セント~1538.25セント。米農務省(USDA)が前日の取引終了後に公表した週間の作付け状況が、順調なことが弱材料となり、売りが優勢となった。その後は一旦買い戻しが入ったものの、シカゴ取引時間で、コーンが急落したことから、大豆も売りに拍車がかかり、一時約1カ月ぶりの安値となる1499.00セントをつけた。ただ、安値では買い戻しが入り、終盤にかけて下げ幅を縮小して1510セント台を回復した。

25日のシカゴ小麦7月限は前日比▲5.75セント安の656.50セントと続落。取引レンジは646.75セント〜667.50セント。米産地での降雨による順調な生育見通しや、オーストラリアの増産観測が弱材料となった。トウモロコシの下落も嫌気された。中心限月は5日続落し、1カ月ぶりの安値となった。ただ、続落してきたことに加え、節目の650セントを割り込んだことで目先の下げ一巡感が強まったことから下げ幅は限られた。

## TOPICs Crop Progress

トウ	18州						
Planted (作付)	Planted (作付) 前年度 年度						
4月4日	2%	2%	2%				
4月11日	3%	4%	3%				
4月18日	6%	8%	8%				
4月25日	24%	17%	20%				
5月2日	48%	46%	36%				
5月9日	65%	67%	52%				
5月16日	78%	80%	68%				
5月23日	87%	90%	80%				

	18州			
Emerged	(発芽)	前年度	2020 年度	過去5 年平均
4月1	88	1%	2%	1%
4月2	25日	3%	3%	4%
5月2	28	7%	8%	9%
5月9日		22%	20%	19%
5月1	6⊟	40%	41%	36%
5月2	23⊟	61%	64%	54%

7	18州		
Planted (作付)	前年度	2020 年度	過去5 年平均
4月18日	2%	3%	2%
4月25日	7%	8%	5%
5月2日	21%	24%	11%
5月9日	36%	42%	22%
5月16日	51%	61%	37%
5月23日	63%	75%	54%



7	18州		
Emerged(発芽)	2020 年度	過去5 年平均	
5月9日	6%	10%	4%
5月16日	16%	20%	12%
5月23日	41%	25%	

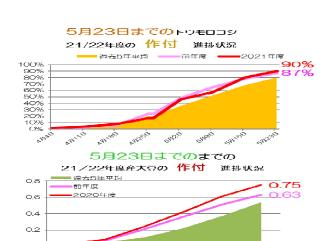
冬小麦									
作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良			
4月4日	5%	11%	31%	47%	6%	53%			
4月11日 4月18日 4月25日 5月2日 5月9日 5月16日	6% 6% 6% 5%	11% 11% 13% 13% 13%	30% 30% 32% 33% 33% 33%	46% 46% 43% 42% 42% 41%	7% 7% 6% 6% 7%	53% 53% 49% 48% 49% 48%			
5月23日 前年度	5% 5%	13% 11%	35% 32%	41% 39%	7% 8%	48% 47%			

冬	18州					
Headed	Headed 前年度 2020 年度					
4月4日	3%	4%	3%			
4月11日	6%	5%	7%			
4月18日	13%	10%	14%			
4月25日	20%	17%	23%			
5月2日	30%	27%	34%			
5月9日	42%	38%	46%			
5月16日	54%	53%	58%			
5月23日	66%	67%	69%			

春小麦						
前年度	2020 年度	過去5 年平均				
3%	5%	2%				
5%	11%	6%				
7%	19%	12%				
13%	28%	19%				
27%	49%	32%				
40%	70%	51%				
57%	85%	71%				
76%	94%	85%				
	前年度 3% 5% 7% 13% 27% 40% 57%	前年度 2020 年度 3% 5% 5% 11% 7% 19% 13% 28% 27% 49% 40% 70% 57% 85%				

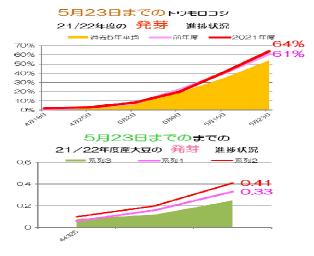
春	6州		
Emerged (発芽)	前年度	2020 年度	過去5 年平均
4月25日	4%	7%	5%
5月2日	6%	14%	10%
5月9日	15%	29%	20%
5月16日	28%	47%	36%
5月23日	48%	66%	56%

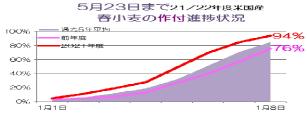
5月23日までの週の米国のトウモロコシ作付けは90%完了。発芽は64%、大豆の作付けは75%完了。発芽は41%いずれも平年より良く順調である。冬小麦はHeadedが67%完了で少し例年より遅れ、春小麦の作付けは94%完了で非常に早く、開花も66%完了で例年より早い。













# TOPICs 中国のトウモロコシ需給 by USDA Gain Report 2021年4月16日

# 中国のトウモロコシの総括

中国の21/22農業年度のトウモロコシの輸入量を 15 百万トンと予測しているが、これは市場のシグナルが前年度の20/21 年度の水準よりも国内での追加生産を促しているためである。

USDAは 20/21 年度のトウモロコシ輸入量を過去最高の 28 百万トンと予想している。過去の予測からの増加は、継続的な飼料需要と、在庫量の補充を支えるための供給不足によるものである。

中国の 21/22 年度の飼料・その他の使用量は、20/21 年度比で +6.7%増の 1,700 万トンになると予想している。トウモロコシの価格は高止まりしており、商業的に保有されているトウモロコシの在庫は過去15年間で見られなかった水準にある。記録的な量の古米と小麦の在庫が、高価格のトウモロコシの代替品として飼料工場や加工工場に入っている。業界関係者は、トウモロコシの需給状況が変化するのは、早くても2021年後半か2022年になるだろうと予測している。

## 飼料・食品用穀物生産量

2020年12月10日、中国国家統計局(NBS)は、中国の公式な穀物生産量推定値を発表し、19/20年度との違いを示唆した。USDAの20/21年度の生産、供給、流通の表は、このNBSの公式統計を反映して更新された。

## 21/22年度の飼料用穀物樹生は96.7%

中国の21/22年度の飼料・その他使用量は、20/21年度比で+6.7%増の17百万トンとなる見込みである。 USDAは、2021年に中国が豚の飼育数を回復させるための努力を継続すると予測している。USDAは、2021年に中国は養豚数を再建する努力を続け、全体の豚肉生産量はアフリカ豚病(ASF)発生前の水準を下回ると予測している。大規模で新しい養豚施設は生産量を増やしているが、母豚の生産性の低さと投入資材の価格高騰に悩まされながらも生産量を増やしているこれらの要因に加え、繁殖用の母豚や子豚の病気が、中国の豚在庫の大幅な増加を抑制する。2021年、場合によっては2022年まで、中国の豚の在庫は大幅に増加しないだろう。

鶏肉については、生産量は増加すると予測されるが、そのペースは+3%と緩やか。飼料価格の高騰、鶏肉価格の低迷、他の動物性たんぱく質との競争などが影響する。飼料価格の高騰、家禽肉価格の低迷、他の動物性タンパク質との競争などが影響し、生産量は3%のペースで減少すると予想される。中国農業大臣は2021年2月に、国内の豚の在庫はアフリカ豚熱以前の92%まで回復したと述べたが、業界には大きな疑念が残っている。楽観的な予測に基づけば、市場の強い需要により飼料原料の価格は引き続き上昇すると思われる。

## アフリカ豚熱の回復は政府が言うほど早くはない

他の関係者は、アフリカ豚熱やその他の豚の病気の発生が、回復を遅らせると考えている。例えば、最近の業界レポートによると、11月にアフリカ豚熱が再発したことで、子豚の死亡率が3ヶ月連続で上昇した。中国の母豚の在庫は華北で▲20%、華東で▲10%減少した。

中国の工業用飼料生産量は、2020年には前年比+10.4%増の2億5,280万トンとなった。豚と家禽の飼料生産量は、飼料全体の35.3%と49.6%を占めている。前年は33.5%、50.6%だった。

豚の飼料生産の商業化が進み、豚の飼料生産量は前年比+16.4%増の8,920万トンとなり、過去最高だった2018年の86%に達した。同時に、養鶏用餌の生産量は+7.5%増、ブロイラー用飼料は+8.4%増、反芻動物用飼料は+18.9%増となった。



# トウモロコシの需給

	2021/4/26 USDA GAIN									
千ヘクタール・千 トン	2016/17年度 (16年10月~)	前年比	2017/18年度 (17年10月~)	前年比	2018/19年度 (18年10月~)	前年比	2019/20年度 (19年10月~)	前年比	2020/21年度 (20年10月~)	前年比
収獲面積	36,768	<b>▲</b> 1,351	42,399	+5631	42,130	▲269	41,280	<b>▲</b> 850	41,264	<b>▲</b> 16
期初在庫	110,774	+10302	223,017	+112243	222,525	▲492	210,163	<b>▲</b> 12,362	200,526	<b>▲</b> 9,637
生産	219,552	<b>▲</b> 5,080	259,071	+39519	257,174	<b>▲</b> 1,897	260,779	+3605	260,670	<b>▲</b> 109
年度輸入	2,464	+0	3,456	+992	4,483	+1027	7,596	+3113	28,000	+20404
暦年輸入	2,464	<b>▲</b> 710	3,456	+992	4,483	+1027	7,596	+3113	28,000	+20404
暦年米国からの輸入	809	+488	308	<b>▲</b> 501	319	+11	3,020	+2701	0	▲3,020
在庫/生産/輸入合計	332,790	+4512	485,544	+152754	484,182	<b>▲</b> 1,362	478,538	<b>▲</b> 5,644	483,196	+4658
年度輸出	77	+73	19	<b>▲</b> 58	19	+0	12	<b>▲</b> 7	20	+8
暦年輸出	77	+73	19	<b>▲</b> 58	19	+0	12	<b>▲</b> 7	20	+8
飼料その他	162,000	+8500	187,000	+25000	191,000	+4000	193,000	+2000	196,000	+3000
食料用	70,000	+6000	76,000	+6000	83,000	+7000	85,000	+2000	86,000	+1000
国内総需要	232,000	+14500	263,000	+31000	274,000	+11000	278000.	+4000	282000.	+4000
期末在庫	100,713	<b>▲</b> 10,061	222,525	+121812	210163.	<b>▲</b> 12,362	200,526	▲9,637	207,176	+6650
期末在庫率	30.26%		45.83%		43.41%		41.90%		41.90%	
生産+輸入	222,016	<b>▲</b> 5,790	262,527	+40511	261,657	▲870	200,526	<b>▲</b> 61,131	288,670	+88144
国内需要+輸出	232,077	+14573	263,019	+30942	274,019	+11000	278,012	+3993	282,020	+4008
需給バランス	<b>▲</b> 10,061		<b>▲</b> 492		<b>▲</b> 12,362		<b>▲</b> 77,486		+6650	
需要合計	332,790	+4512	485,544	+152754	484,182	<b>▲</b> 1,362	478,538	<b>▲</b> 5,644	489,196	+10658
単収	5.97130	+0.08	6.11030	+0.14	6.1043	▲0,006	6.3173	+0.213	6.3171	▲0.0002

# トウモロコシの生産量

21/22 年度のトウモロコシ生産量は、+2.8%増の 2億6,800万トンとなる見込み。これは、政府の政策による作付け面積の増加によるもの。

これは、政府の政策とトウモロコシ価格の高騰による作付面積の増加によるものである。中国農業省の2021年のガイドラインと高官の公式声明では、主要産地で66万7,000ヘクタール以上のトウモロコシ作付面積を増やすという目標が掲げられている。トウモロコシの栽培面積を増やすには、休耕地や限界地の開発、あるいは大豆栽培の損失が必要になる。

農業省の最新のガイドラインでは、すべての未植地に穀物を植えることを優先している。しかし、実質的な生産量の増加は、大豆生産を奨励する政策との兼ね合いで制限されるだろう。

大豆生産を奨励する政策と、質の悪い土地や理想的ではない地域での作付け増加の兆候により、実際の生産量は制限されるだろう。

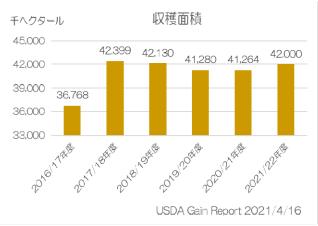
報告によると、2020年のFall Army Worm (ツマジロクサヨトウ: FAW) の影響は最小限で、以前に予想されていたほど有害ではなかった。これは、良好な気象条件とこれは、好天に恵まれたことと、政府や生産者がFAWの拡散や蔓延を防ぐために努力したことによるものである。一方、中国の西南部と南部では80%以上、長江デルタでは15%の作物面積に影響を与えた。

揚子江デルタでは15%が被害を受けたが、中国の主要なトウモロコシ生産地である北部ではわずか1%の被害にとどまりった。また、北部の主要なトウモロコシ生産地では、わずか1%だった。また、FAWが検出されたのは、2020年に中国で追加された1県のみだった。2020年にはさらに1つの郡でFAWが検出され、予想よりもゆっくりとした広がりを見せている。



出所:USDA







## トウモロコシの消費量

21/22 年度のトウモロコシの総消費量は 2億9,700百万トンと予想される。飼料その他の使用が増加し、食品・種子・工業分野が着実に成長することから、21/22年のトウモロコシ総消費量は2億9,700万トンと予測される。

#### 飼料・その他

飼料およびその他の消費量は、養豚数の回復の努力が続いていることから、2 億 1,000 万トンと予想している。

2021年以降の飼料は、製造されたものが好まれると予想される。2021年度の家禽類の飼料消費量は歴史的な高水準にあり、今後も成長が見込まれるが、そのペースは+3%と低めである。国内のトウモロコシ価格が高いため、飼料に配合されるトウモロコシの割合は養豚用飼料では40%から30%に、鶏用飼料では65%から55%に低下した。

飼料消費量は今後も増加するが、飼料消費量は引き続き増加するが、飼料に使用されるトウモロコシの割合は、 国内の相対的な価格に左右される。

中国のトウモロコシ価格は、前年比で少なくとも +50%上昇している。

## NBS の公式データでは

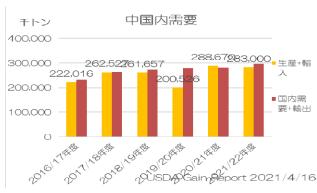
2020年の年間飼料生産量は 2億9,000万トンで、2019年に比べて +11%増加しているが、アフリカ豚熱前の水準からは +3%しか増加していない。

業界関係者は、需要のかなりの部分が<sup>"</sup>中間需要<sup>"</sup>であると考えている。

これには、トレーダーや飼料工場が、以下によるサプライチェーンの中断を恐れて備蓄していることが含まれる。

新型コロナウィルスや輸入トウモロコシの上昇によるサプライチェーンの中断を恐れて備蓄しているトレーダーや飼料工場などである。業界の多くは、業界の多くは、トウモロコシの高値が続いているのは、トレーダーが在庫を抱え、さらに高値になるのではないかと思っていると推測している。







## トウモロコシの食品工業用需要

USDAは、21/22年度の食品工業用消費量はわずかな伸びにとどまると予想3月の予想より+300万トン多いと推定している。20/21年度の北東部のトウモロコシは、収穫前の異常気象により、カビやアフラトキシンの発生率が通常よりもはるかに高かった。これらのトウモロコシのほとんどは深層部の加工用に送られるが同量の製品を生産するための転換率は例年よりも低くなるだろう。

# 図1 中国の穀物価格2018年~2021年(人民元)

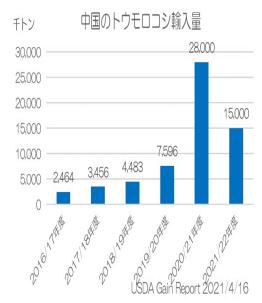


# トウモロコシの貿易

USDAは、21/22 年度のトウモロコシの輸入量を 15 百万トンと予想し、20/21 年度の輸入量を 28 百万トンとしている。これは、新販売年度に予想される高水準の商業在庫の維持、養豚の継続的な回復、そして日本での生産量の増加という変化によるものである。また20/21年度の輸入量と繰越在庫量は高水準となっている。これは、供給不足が原因であり、輸入品で補充することで 農場価格が高かった国内価格を下げようとする動きに加えて、飼料需要が継続している。

農業省は、3月の中国農業需給推計で、中国のトウモロコシの供給不足を指摘している。20/21年度のトウモロコシの供給ギャップは1,850万トンとなっている。また、中国が一時的なトウモロコシの備蓄を使い果たしたとの報道もある。

投機筋、工場・プラント、地方政府の備蓄は、将来の供給不安からトウモロコシの在庫を積み上げている。生産量を低下させる天候上の問題への懸念から、投機家はトウモロコシの在庫を積み増している。情報筋によれば、さらなる価格上昇を抑制し、生産量を維持し、暦年(2021年)を通じてバッファストックを維持するためには、かなりの量のトウモロコシの輸入が必要になる見込みである。



中国税関総署(GACC)の公式データによると、中国は2020年に11.3百万トンのトウモロコシを輸入した。2020年のトウモロコシの輸入量は1,130万トンで、史上初めてWTOのTRQを超えました。中国は2021年の初めに米国産トウ モロコシを大量に購入している。今後の中国のトウモロコシの輸入量は、輸入トウモロコシの価格、代替穀物の価格、そして中国が以前および最近発生したアフリカ豚熱の後に養豚数を補充する進捗状況によって決まる。

# トウモロコシの在庫

21/22 年度の在庫は 1 億 9,320 万トンと予想される。新型コロナウィルスパンデミックによる世界的なサプライチェーンへの影響により、中国政府は、食料と飼料の安全保障には戦略的穀物備蓄が不可欠であるとの見解を強めた。これにより、迅速な在庫削減から、在庫の再構築に向けた政策転換が行われた。





また、国家レベルでの貯蔵施設とその管理の拡大・改善、穀物の品質をよりよく管理するためのローテーションを行っている。

中国の一時的な予備のトウモロコシは使い果たしたかのように見えるが、オークションにかけられたトウモロコシは完全には使われていない。

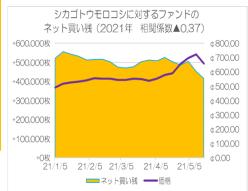
むしろ、国家備蓄から商業的に保有されている在庫に移された。

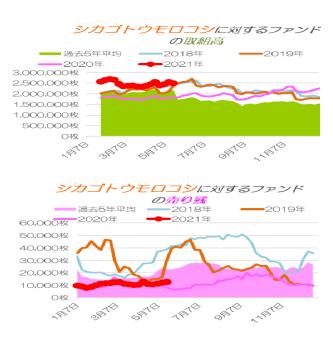
報告によると、現在の商業在庫は15年ぶりの高水準に近づいている。北東部の商業用トウモロコシの在庫は、業界関係者によると昨年の3倍になっている。広東省の飼料工場では、6ヵ月分の在庫があると報告されている。対照的に、ほとんどの加工工場は2019年に15~20日分の在庫を保持していた。飼料工場は2~3ヶ月分しか持たなかった。業界関係者は、転機が訪れるのは、トウモロコシの需給状況が逆転し、パンデミックによる不足の脅威が収まる2022年まで来ないだろうと業界関係者は見ている。すべての兆候は、現在の輸入量のほとんどが枯渇した在庫を満たしていることを示している。輸入量が多くても国内価格は高止まりしており、新たに入荷したトウモロコシがまだ最終消費者に届いていないことを示唆している。

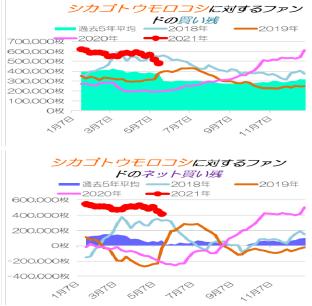
# TOPICs シカゴトウモロコシに対するファンドの建玉

までの週	取組高	買い残	売り残	ネット買い残	増減	価格
3月2日	2,358,552枚	550,839枚	74,324枚	476,515枚	▲27,882枚	¢545.00
3月9日	2,374,719枚	551,664枚	79,958枚	471,706枚	▲4,809枚	¢545.75
3月16日	2,389,663枚	550,925枚	74,143枚	476,782枚	+5,076枚	¢554.25
3月23日	2,341,060枚	578,983枚	74,938枚	504,045枚	+27,263枚	¢551.25
3月30日	2,320,111枚	585,032枚	72,263枚	512,769枚	+8,724枚	¢539.25
4月6日	2,364,959枚	577,372枚	67,954枚	509,418枚	▲3,351枚	¢554.25
4月13日	2,448,675枚	593,420枚	67,361枚	526,059枚	+16,641枚	¢580.00
4月20日	2,547,704枚	577,762枚	73,613枚	504,149枚	▲21,910枚	¢592.00
4月27日	2,399,229枚	553,655枚	67,029枚	486,626枚	▲17,523枚	¢654.50
5月4日	2,438,342枚	564,775枚	59,160枚	505,615枚	+18,989枚	¢696.75
5月11日	2,557,937枚	516,034枚	62,583枚	453,451枚	▲52,164枚	¢722.25
5月18日	2,493,255枚	482,409枚	66,602枚	415,807枚	▲37,644枚	¢658.25
前週比	▲64,682枚	▲33,625枚	+4,019枚	▲37,644枚	+14,520枚	<b>▲</b> ¢64.00
2か月前比	+103,592枚	▲68,516枚	▲7,541枚	▲60,975枚	▲42,720枚	+¢104.00

5月18日のシカゴトウモロコシに対するファンドの買い残は前週から▲3万3,625枚減少し、売り残は+4,019枚増加、ネット買い残は▲3万7,644枚減少して、41万5,807枚となった。









#### 今後の予想

中国は以前トウモロコシの買い上げ価格を引き上げたために、トウモロコシを作り過ぎてしまい、全国に在庫が積 み上げられた経験がある。

一昨年は、米トランプ前大統領が中国製品に対する輸入関税を引き上げたため、米国産大豆の最大購入者であった 中国政府は米国産大豆の輸入関税を+25%引き上げ、不足する分をブラジルやアルゼンチンから購入するとともに、 国産大豆の増産を測った。そのためトウモロコシの生産は減少したが、アフリカ豚熱の収束から養豚需要が旺盛とな り、飼料用穀物の需要が増加している。また中国は自国の養豚・養鶏生産の代わりに生肉をブラジルから大量に購入 するようになっており、これがブラジルの

トウモロコシ価格上昇の背景となっている。

昨年のトウモロコシ輸入は過去最大となったが、21/22年度は少し減少すると見込まれている。トウモロコシの在 庫は依然として過大であるが、中国政府は、価格の高騰や供給不足を恐れて在庫を積み上げている。世界的にトウモ ロコシ価格は上昇していたが、このところ、少し修正安となっている。今後は北半球やブラジルのサフリンハ(二期 作)の出来具合であろう。

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス (以下「COMMi」という) が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表 示したものですが、その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行なっておらず、また、いかなる責任を持つものでもありま せん。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情などの影響により、その価値を増大または減少する こともあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生し た場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMiおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願いします。

発行元:



**LOTHING LINE \*** \*式会社コモディティー インテリジェンス4東京都中央区日本橋蛎殻町1丁目11-3-310

会社電話: 03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692

レルアドレス: kondo@commi.cc